

令和6年度 特別の教育課程（立川市民科）の実施状況等について

1. 学校名 立川市立大山小学校

2. 令和6年度 学校における自己評価（箇条書きでご記入ください。）

立川市民科の取組の効果	<ul style="list-style-type: none"> 児童が地域の方々と一緒に学校の花壇に花を植えたり、地域の方にインタビューをしたりする中で、地域の方々への思いや願いをもって活動できた。 海外の方との直接的な交流を通して、自分の住む町の良さについて改めて気付くことができ、地域の一員であることを実感することができた。
立川市民科の取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的に学習を進めていくために、「課題設定の段階」を充実させることが重要である。 地域の方々の思いや願いを受け止め、効果的な学習となるように児童に提示していくことが大切である。

3. 令和6年度 学校評価に係る共通項目のうち

①対象：児童・生徒

項目：⑫立川市民科では、自分で立てた課題について、情報を集め、整理・分析し、まとめ・表現することができた。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
46.3%	35.2%	10.7%	3.7%	4.1%

②対象：保護者

項目：⑪立川市民科では、探究的な学びの実現に向けて組織的に取り組んでいる。

(割合)

そう思う	概ねそう思う	あまりそう思わない	思わない	わからない
53.7%	32.2%	3.4%	0%	10.7%